

## 2. 経済ネットワークング学科

経済ネットワークング学科には、「地球環境と開発」「地域づくりと福祉」「情報メディア」の3コースがあり、それぞれのコースによって専門教育科目の履修方法が異なる。学生諸君は、いずれかのコースを選択し履修規程に基づいて単位を修得しなければならない。

### 各コースについて

#### 【地球環境と開発コース】

このコースでは、日本を含む先進国と発展途上国が、地球という有限の環境の中でどのように共生してゆくのか、そして地球環境と調和した持続的発展をいかに実現していくのかをテーマとして学修・研究する。そのためには理論的な分析だけではなく、先進国の資源多消費型経済の与える影響や発展途上国が直面している諸問題を現場に即して考察し、さらにはボランティアの活躍ぶりや非政府組織（NGO）の役割と課題などについてもしっかりと学ぶことが大切である。したがって、このコースでは、現場での体験学習や調査実習が重視される。

#### 【地域づくりと福祉コース】

このコースでは、人々の労働と生活の場である地域が直面している問題、地域経済の停滞や自治体財政の逼迫、高齢化などの問題について学び、地域独自の環境や諸条件を活かしながら豊かな生活を実現する地域づくりや福祉のあり方を探求する。財政難と産業構造の急速な変化に直面しながらも、新たな高齢者福祉や産業振興、雇用確保を目指す地域がある。このコースではそうした地域活性化の担い手となる能力の養成も目指してゆく。したがって、現場での体験学習や調査実習が重視される。

#### 【情報メディアコース】

コンピュータおよびコンピュータ・ネットワークの普及した「情報ネットワーク社会」では、双方向型の情報メディアについての深い理解が求められる。つまり、受け手として無数の情報の中から有用な情報を検索・取得する能力と、送り手として価値のある情報コンテンツ（内容）を作成・発信する能力が不可欠となる。このコースでは、単にコンピュータや情報通信に関わる技術を学ぶばかりではなく、「情報ネットワーク社会」とは何かを理解し、その出現によって生み出される情報倫理などの新たな問題に対する深い洞察力を養成する。

### カリキュラムの構成と履修方法

専門教育科目	学部共通科目	必修科目	3科目 6単位	64単位	所要単位を超えて修得した単位は、自由科目 40単位に算入	
		選択必修科目	2科目 4単位 <small>注1)</small>			
	学科基礎科目	選択必修科目	3科目 6単位			
	専門基本科目	コース別 選択必修科目	4科目 8単位以上			次頁以下の表 ★印科目の中より 所要単位を超えて修得した単位は、自由科目 40単位に算入
	学部共通科目 学科基礎科目 専門基本科目 専門応用科目 専門関連科目	自由科目	40単位 <small>注2)</small>			

注1) 学部共通科目のうち「基礎演習 B」は入学年度の後期のみ履修できる（次頁カリキュラム表参照）。この科目は学部必修科目に準ずる重要な科目であるため、履修を義務づけている。従って学生が履修登録をする必要はなく、全ての学生が履修登録されている。前期の「基礎演習 A」の評価が「D」または「R」の場合は後期の「基礎演習 B」を履修できないが、「基礎演習 B」の登録は解除しない。そのため当該時限にほかの科目を履修登録することはできない上、評価は「R」となるので、「基礎演習 A」は極力修得すること。

注2) 次頁以降のカリキュラム表にある「演習Ⅰ」から「サマーセミナー（演習Ⅲ）」までの演習科目は、募集期間に「演習Ⅰ」（編入生の場合は「演習Ⅱ」）に応募して合格した学生のみ受講できる。また合格した「演習Ⅰ」または「演習Ⅱ」の担当教員が開講する科目しか受講できない。教員によって開講形態は異なるが、開講する科目は年度ごとに一括して履修登録される。

	授業科目	開講	単位	開講学年				コース			備考
				1	2	3	4	地球環境と開発	地域と福祉	メディア情報	
学部共通科目	日本の経済	前後	2	○							3科目6単位(必修) →1年次での履修登録必須。「基礎演習A」を修得済であること。入学初年次のみ履修できる。 →「コンピュータと情報A」を修得済であること このうち2科目4単位以上
	コンピュータと情報A	前後	2	○							
	基礎演習A	前後	2	○							
	基礎演習B	後期	2	○							
	コンピュータと情報B	前後	2	○							
	情報システムの基礎	前後	2	○							
学科基礎科目	会社入門	前後	2	○							このうち3科目6単位以上
	世界の経済	前後	2	○							
	調査研究入門	前後	2	○							
	環境・開発問題入門	前後	2	○							
	環境経済の基礎	前後	2	○							
	社会保障の基礎	前後	2	○							
専門基本科目	スタディーズAー集中	集中	2	○							★を付してあるコース別指定科目より 4科目8単位以上を修得すること
	地域社会問題入門	前後	2	○				★	★	★	
	情報システム	前後	2	○						★	
	情報メディア問題入門	前後	2	○							
	アンケート調査入門	前後	2	○							
	アンケート調査	通年	4	○							
	消費者主権の経済学	前後	2	○				★	★		
	フィールドワーク入門(環境・開発)1)	前後	2	○				★			
	フィールドワーク(環境・開発)2)	通年	4	○				★			
	フィールドスタディ入門(環境・開発)1)	前後	2	○				★			
	フィールドスタディ(環境・開発)2)	通年	6	○				★			
	環境・開発問題	前後	2	○				★			
	環境と経済	前後	2	○				★			
	開発経済	前後	2	○				★			
	企業活動と環境	前後	2	○				★			
	NGO・NPOと社会	前後	2	○				★			
	国際協力と援助	前後	2	○				★			
	フィールドワーク入門(地域社会)3)	前後	2	○					★		
	フィールドワーク(地域社会)4)	通年	4	○					★		
	フィールドスタディ入門(地域社会)3)	前後	2	○					★		
	フィールドスタディ(地域社会)4)	通年	6	○					★		
	地域社会問題	前後	2	○					★		
	現代日本経済	前後	2	○					★		
	地域と経済	前後	2	○					★		
	地域と行財政	前後	2	○					★		
	まちづくりと市民	前後	2	○					★		
	少子高齢社会と社会保障	前後	2	○					★		
	医療の経済	前後	2	○					★		
	コンピュータと情報CⅠ	前後	2	○						★	
	コンピュータと情報CⅡ	前後	2	○						★	
コンピュータと情報CⅢ	前後	2	○						★		
コンピュータと情報CⅣ	前後	2	○						★		
情報通信ネットワーク	前後	2	○						★		
マルチメディア表現と技術	前後	2	○						★		
情報処理の基礎	前後	2	○						★		
ネットワーク型組織	前後	2	○						★		
情報倫理とセキュリティ	前後	2	○						★		
情報社会と職業	前後	2	○						★		
専門応用科目	情報メディア問題演習	前後	2	○							→「情報メディア問題入門」を修得済であること
	法情報学	前後	2	○							
	経済統計の見方	前後	2	○							
	公共部門と財	前後	2	○							
	雇用と社会政策	前後	2	○							
	労働経済	前後	2	○							
農業経済	前後	2	○								

- 1) フィールドワーク入門(環境・開発)とフィールドスタディ入門(環境・開発)は毎年いずれかが開講される。
- 2) フィールドワーク(環境・開発)とフィールドスタディ(環境・開発)は毎年いずれかが開講される。
- 3) フィールドワーク入門(地域社会)とフィールドスタディ入門(地域社会)は毎年いずれかが開講される。
- 4) フィールドワーク(地域社会)とフィールドスタディ(地域社会)は毎年いずれかが開講される。

次ページに続く

授業科目	開講	単位	開講学年				コース			備考
			1	2	3	4	地球環境と開発	地域と福祉	メディア情報	
地方自治 I	前後	2			○					
地方自治 II	前後	2			○					
消費情報教育	前後	2			○					
コンピュータと情報 D I	前後	2			○					→ (ネットワーク管理とセキュリティ) 「コンピュータと情報A・B」及び「情報通信ネットワーク」を修得済であること
コンピュータと情報 D II	前後	2			○					→ (シミュレーション・グラフィックス) 「コンピュータと情報A・B」及び「情報処理の基礎」を修得済であること
プログラミング技法	前後	2			○					→ 「コンピュータと情報A・B」及び「情報処理の基礎」を修得済であること
プログラミング演習	前後	2			○					→ 「コンピュータと情報A・B」と「情報処理の基礎」及び「プログラミング技法」を修得済であること
福祉社会と情報	前後	2			○					
専門資格取得指導	前後	2		○						→ テーマが異なれば複数履修可
演習 I	後期	2		○						
演習 II	通年	4			○					→ 「演習 I」を修得済であること☆
演習 III (4)	通年	4			○					→ 「演習 II」を修得済であること☆
演習 III (2)	後期	2			○					→ 「演習 II」を修得済であること☆
演習 IV	後期	2			○					→ 「演習 III」を登録していること
サマーセミナー (演習 I)	集中	2		○						→ 「演習 I」を登録していること
スプリングセミナー (演習 I)	集中	2			○					→ 「演習 I」を登録していること
サマーセミナー (演習 II)	集中	2			○					→ 「演習 II」を登録していること
スプリングセミナー (演習 II)	集中	2			○					→ 「演習 II」を登録していること
サマーセミナー (演習 III)	集中	2			○					→ 「演習 III」を登録していること
ベンチャービジネス	前後	2			○					
日本の中小企業	前後	2			○					
公会計	前後	2			○					
日本経済と政策	前後	2			○					
政治学概論	前後	2			○					
国際法の基礎	前後	2			○					
国際紛争処理法	前後	2			○					
国際政治 A	前後	2			○					
国際政治 B	前後	2			○					
統計学	前後	2			○					→ 「経済統計の見方」を修得済であること
経済英語	前後	2			○					→ テーマが異なれば複数履修可
近代経済学の歴史	前後	2			○					
社会経済学入門	前後	2	○							
経済理論入門	前後	2	○							
経済学史	前後	2			○					
経済史の基礎	前後	2			○					
財政の基礎	前後	2			○					
金融の基礎	前後	2			○					
経済学原論	前後	2			○					
マクロ経済学	前後	2			○					→ 「経済理論入門」を修得済であることが望ましい
ミクロ経済学	前後	2			○					→ 「経済理論入門」を修得済であることが望ましい
計量経済学	前後	2			○					→ 「経済統計の見方」を修得済であること
国際経済	前後	2			○					→ 「世界の経済」修得済であることが望ましい
地域経済統合	前後	2			○					→ 「世界の経済」修得済であることが望ましい
産業組織論	前後	2			○					
日本の金融システム	前後	2			○					→ 「金融の基礎」修得済であることが望ましい
国際通貨と国際金融	前後	2			○					→ 「金融の基礎」修得済であることが望ましい
アメリカ経済	前後	2			○					
E U 経済	前後	2			○					
アジア経済	前後	2			○					
日本経済史	前後	2			○					
近代日本経済史	前後	2			○					
西洋経済史	前後	2			○					
近代西洋経済史	前後	2			○					
経済学特論	前後	2	○							→ テーマが異なれば複数履修可
日本経済特別演習	前後	2			○					
金融システム特別演習	前後	2			○					
国際経済特別演習	前後	2			○					

☆ 履修保留 (10頁参照) が認められた場合に限り、「演習 II・III」を4年次に同時履修することができる。

次ページに続く

授 業 科 目	開 講	単 位	開 講 学 年				コ ー ス			備 考
			1	2	3	4	地 球 環 境 と 開 発	地 域 福 祉 と 福 祉	メ デ イ ア 情 報	
経 営 理 論 入 門	前 後	2	○							
現 代 の 企 業 経 営	前 後	2	○							
簿 記 と 財 務 報 告 A	前 後	2	○							
簿 記 と 財 務 報 告 B	前 後	2	○							→「簿記と財務報告A」を修得済であること
財 務 会 計	前 後	2		○						→「簿記と財務報告A」を修得済であること
経 営 情 報 の 開 示	前 後	2	○							
企 業 問 題 入 門	前 後	2		○						
経 営 管 理	前 後	2			○					
経 営 戦 略 の 基 礎	前 後	2		○						
経 営 組 織	前 後	2		○						
国 際 経 営	前 後	2		○						
企 業 財 務 の 基 礎	前 後	2		○						
人 事 管 理	前 後	2			○					
マ ー ケ テ ィ ン グ	前 後	2			○					→「マーケティングの基礎」修得済であることが望ましい
コ ー ポ レ ー ト ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	前 後	2			○					
流 通 シ ス テ ム	前 後	2			○					
財 務 諸 表 分 析	前 後	2			○					→「簿記と財務報告A」を修得済であること
応 用 財 務 会 計	前 後	2			○					→「簿記と財務報告A」及び「財務会計」を修得済であること
原 価 計 算	前 後	2			○					→「簿記と財務報告A」を修得済であること
予 算 管 理	前 後	2		○						→「簿記と財務報告A」を修得済であること
コ ン ピ ュ ー タ 会 計	前 後	2			○					→「簿記と財務報告A」を修得済であること
フ ィ ー ル ド ワ ー ク 入 門 ( 企 業 ) 5	前 後	2		○						
フ ィ ー ル ド ワ ー ク ( 企 業 ) 6	通 年	4			○					→「フィールドワーク入門(企業)」もしくは「フィールドワーク(地域社会)」を修得済であること
フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ 入 門 ( 企 業 ) 5	前 後	2		○						2年次生のみ履修可
フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ ( 企 業 ) 6	通 年	6			○					→「フィールドスタディ入門(企業)」を修得済であること。3年次生のみ履修可
経 営 特 別 演 習	前 後	2			○					
会 計 特 別 演 習	前 後	2			○					
職 業 指 導	通 年	4			○					
憲 法	通 年	4			○					
民 法 I	前 後	2			○					
民 法 II	前 後	2			○					
商 法 I	前 後	2			○					
商 法 II	前 後	2			○					
証 券 投 資 分 析	前 後	2			○					
リ ス ク と 保 険	前 後	2			○					
社 会 経 済 思 想	前 後	2			○					
日 本 の 経 済 思 想	前 後	2		○						
経 営 史	前 後	2		○						
生 産 管 理	前 後	2			○					
組 織 行 動	前 後	2			○					
研 究 開 発 マ ネ ジ メ ン ト	前 後	2			○					
消 費 者 と 広 告	前 後	2			○					
企 業 監 査	前 後	2			○					→「簿記と財務報告A」を修得済であること
税 務 会 計	前 後	2			○					→「簿記と財務報告A」を修得済であること
国 際 会 計	前 後	2			○					→「簿記と財務報告A」及び「財務会計」を修得済であること
経 営 学 特 論	前 後	2	○							→テーマが異なれば複数履修可
会 計 学 特 論	前 後	2	○							→テーマが異なれば複数履修可
日 本 経 営 史	前 後	2		○						
マ ー ケ テ ィ ン グ の 基 礎	前 後	2		○						
日 本 史 概 論 I	前 後	2	○							
日 本 史 概 論 II	前 後	2	○							
東 洋 史 概 論 I	前 後	2	○							
東 洋 史 概 論 II	前 後	2	○							
西 洋 史 概 論 I	前 後	2	○							
西 洋 史 概 論 II	前 後	2	○							
社 会 学 A	前 後	2			○					
社 会 学 B	前 後	2			○					

専門関連科目

- 5) フィールドワーク入門(企業)とフィールドスタディ入門(企業)は毎年いずれかが開講される。  
6) フィールドワーク(企業)とフィールドスタディ(企業)は毎年いずれかが開講される。  
○で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。